

第2回 真空技術 超入門講座

主催 日本真空学会東海支部

[日時・会場]

平成 27 年 4 月 8 日(水) 13:00~16:10 名古屋大学

平成 27 年 4 月 15 日(水) 13:00~16:10 名古屋工業大学

(会場の部屋は申し込み時にお知らせします)

参加のおすすめ

研究室に配属されてこれから実験を始めようとしているみなさん！

実験的な研究では多くの場面で真空装置を用います。真空装置を使って物質を作ったり加工したりする研究では、真空装置を扱うことが研究の中心になります。さらに、

- ・電気測定のための電極を付ける
- ・化学組成などの性質を測定評価する

といった場面でも、真空装置を用いることは頻繁にあります。

真空装置は、ひとたびトラブルがあればその対処には真空に関する正確な知識が要求されます(そして、いかなる装置でも、トラブルはつきものです)。また、正しい知識がないために、トラブルを引き起こしてしまう可能性もあります。したがって、真空に関する基礎知識は、実験的な研究を行う学生さんにとって不可欠なのですが、残念ながら大学の授業ではほとんど扱われていません。

そこで、日本真空学会では真空についての基礎知識を学ぶ半日の入門講座を企画しました。たった半日です。評価などにもみ真空装置を使う学生さんにとっては、この講座で真空に関する必要十分な知識が得られるでしょう。真空装置を扱うことが研究の中心になる学生さんにとっては、これから行う本格的な勉強のための、重要な基礎を身につけることができるでしょう。ぜひ、この真空に関する入門講座にご参加ください。

協賛団体：応用物理学会東海支部、日本表面科学会中部支部、日本真空工業会

参加要領

参加費	無料
テキスト、テキスト代	「真空」(Journal of the Vacuum Society of Japan) 2013年6月号 https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jvsj2/56/6/_contents/-char/ja/ にてダウンロード可 *冊子の販売も致します。学生：1,080円、一般：1,620円
定員	名古屋工業大学、名古屋大学、各50名
申込開始時期(予定)	平成27年3月下旬
問合せ先	〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 市村正也 TEL. 052-735-5453 e-mail: ichimura.masaya@nitech.ac.jp

講義 一 真空機器の実物や模型を使用します[提供：大阪真空機器製作所、名古屋科学機器]

テーマ	内容
真空をはかる (1時間30分)	真空の定義、気体分子の振る舞い、真空計の種類、動作原理、使用方法を学ぶ。 テキスト：秋道斉、「種々の真空計とそれぞれの計測原理」
真空をつくる (1時間30分)	各種真空ポンプの動作原理、性能、特徴および使用法を学ぶ。 テキスト：湯山純平、末次祐介「排気と真空ポンプ」